

工事成績採点の考査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

考査項目	細 別	評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理	<p><input type="checkbox"/> ①約款第19条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ②施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑨社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分にしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑩独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑪工事の関係書類及び資料の整理がよい。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑫その他</p> <p>理由：</p> <p>(減点) 該当すれば d 評価とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p>(減点) 該当すれば e 評価とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員から文書による改善指示に従わなかった。</p>
評 価		
<p>a : 施工管理が優れている。 b : 施工管理が良好である。 c : 施工管理が適切である。 d : 施工管理がやや不適切である。</p> <p>e : 施工管理が不適切である。</p>		
<p>該当項目が90%以上 a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>該当項目が60%以上80%未満 c ③ 評価値（%）＝（評価数／対象評価項目数）×100</p> <p>該当項目が60%未満 d</p>		
評価＝	項目 /	項目 %

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

審査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> ①承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 <input type="checkbox"/> ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由：
		(減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 (減点) 該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、建設工事請負基準約款第32条に基づく修補指示を検査員が行った。
評 価		
a : 出来形が特に優れている。 a' : 出来形が優れている。 b : 出来形が特に良好である。 b' : 出来形が良好である。 c : 出来形が適切である。 d : 出来形がやや不適切である。 e : 出来形が不適切である。		
該当項目が90%以上 a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 該当項目が80%以上90%未満 a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 該当項目が70%以上80%未満 b ③ 評価値 (%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 該当項目が60%以上70%未満 b' 該当項目が50%以上60%未満 c 該当項目が50%未満 d		
	評価 =	項目 / 項目 %

※ 1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

工事成績採点の考査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

考査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 建築工事	<input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	工事比率	
評 価		
a : 品質が特に優れている。 a' : 品質が優れている。 b : 品質が特に良好である。 b' : 品質が良好である。 c : 品質が適切である。 d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 該当項目が80%以上90%未満 a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 該当項目が70%以上80%未満 b ③ 評価値 (%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 該当項目が60%以上70%未満 b' 該当項目が50%以上60%未満 c 該当項目が50%未満 d		
	評価=	項目 / 項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし工事比率は1.0とする。

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

審査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 電気設備工事	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	工事比率	
評 価		
a : 品質が特に優れている。 a' : 品質が優れている。 b : 品質が特に良好である。 b' : 品質が良好である。 c : 品質が適切である。 d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 該当項目が80%以上90%未満 a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 該当項目が70%以上80%未満 b ③ 評価値 (%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 該当項目が60%以上70%未満 b' 該当項目が50%以上60%未満 c 該当項目が50%未満 d		
	評価=	項目 / 項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

審査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 機械設備工事	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> ⑫その他 理由：
	工事比率	
評 価		
a : 品質が特に優れている。 a' : 品質が優れている。 b : 品質が特に良好である。 b' : 品質が良好である。 c : 品質が適切である。 d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 該当項目が80%以上90%未満 a' ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) 計算の値で評価する。 該当項目が70%以上80%未満 b ③ 評価値 (%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 該当項目が60%以上70%未満 b' 該当項目が50%以上60%未満 c 該当項目が50%未満 d		
	評価 =	項目 / 項目 %

※1. 機械設備工事とは、建設業法における機械器具設置工事をいう。(エレベーター、エスカレーター設備工事を除く。)

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

品質の評価計 =	
----------	--

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の□にレを付す。

（検査職員）

審査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 解体工事	<input type="checkbox"/> ①振動、騒音、粉塵、汚濁水等により第三者に被害を及ぼさないよう施工している。 <input type="checkbox"/> ②供用中の道路、住宅等に影響を及ぼさないよう施工している。 <input type="checkbox"/> ③本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないよう施工している。 <input type="checkbox"/> ④取り壊し殻を分離し、それぞれ収集運搬、処理が適正に行われていることが、産業廃棄物管理票（マニフェスト）で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤その他事項について設計図書に基づいて施工されている。 （減点）該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 （減点）該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 建設工事請負基準約款第18条に基づき監督員が改造請求を行った。
評 価		
a : 品質が優れている。 b : 品質が良好である。 c : 品質が適切である。 d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。		
確認項目の該当4項目以上 a 確認項目の該当3項目 b 確認項目の該当2項目以下 c		
評価＝	項目	

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

審査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 建築工事	<input type="checkbox"/> ①きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> ③使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> ④仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 <input type="checkbox"/> ⑤色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 <input type="checkbox"/> ⑦保身に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑧その他 理由：
	工事比率	
評 価		
a : 全体的な完成度が優れている。 b : 全体的な完成度が良好である。 c : 全体的な完成度が適切である。 d : 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 a	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
該当項目が80%以上90%未満 b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が80%未満 c	③ 評価値(%) = (評価数/対象評価項目数) × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても c 評価とする。
評価＝	項目 / 項目	%

※1. 全体的な仕上がり状態、機能の評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし工事比率は1.0とする。

工事成績採点の考査項目別運用表（建築等）

該当する項目の口に を付す。

(検査職員)

考査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 電気設備工事	<input type="checkbox"/> ①きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由：
	工事比率	
		(減点) 該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。
評 価		
a : 全体的な完成度が優れている。 b : 全体的な完成度が良好である。 c : 全体的な完成度が適切である。 d : 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 a	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
該当項目が80%以上90%未満 b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が80%未満 c	③ 評価値(%) = (評価数 / 対象評価項目数) × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても c 評価とする。
	評価 =	項目 / 項目 %

※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

工事成績採点の審査項目別運用表（建築等）

該当する項目の□に を付す。

(検査職員)

審査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 機械設備工事	<input type="checkbox"/> ①きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑥その他 理由：
	工事比率	
評 価		
a : 全体的な完成度が優れている。 b : 全体的な完成度が良好である。 c : 全体的な完成度が適切である。 d : 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 a	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
該当項目が80%以上90%未満 b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が80%未満 c	③ 評価値(%) = (評価数/対象評価項目数) × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても c 評価とする。
評価＝	項目 / 項目	%

※1. 機械設備工事とは、建設業法における機械器具設置工事をいう。(エレベーター、エスカレーター設備工事を除く。)

※2. 全体的な仕上がり状態、機能の評価する。

※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし工事比率は1.0とする。

出来ばえの評価計＝	
-----------	--

工事成績採点の考査項目別運用表（建築等）

該当する項目の□に を付す。

(検査職員)

考査項目	細 別	評価対象項目
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 解体工事	<input type="checkbox"/> ①既存部分や関連設備との調整がなされている。 <input type="checkbox"/> ②安全及び環境に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> ③整地状況がよい。 <input type="checkbox"/> ④解体撤去後の全体的な美観がよい。
評 価		
a : 全体的な完成度が優れている。 b : 全体的な完成度が良好である。 c : 全体的な完成度が適切である。 d : 全体的な完成度が劣っている。		
確認項目の該当3項目以上 a 確認項目の該当2項目 b 確認項目の該当1項目 c 確認項目の該当なし d		
	評価＝	項目